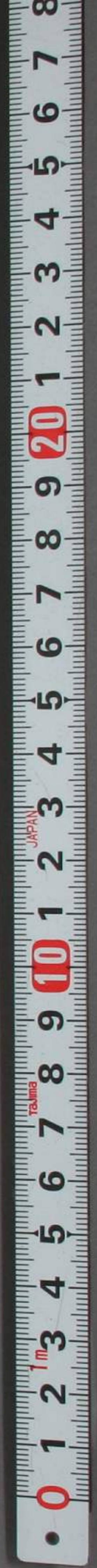


新選憲法秘録

73  
2876  
5





門 3 係  
第 2876  
卷 5



新選憲法秘錄

前 化得方之部 乾

九 八 七 六 五 四 三 二 一

第八列海科私領台海峽出入事

双方一支配出入事

第八列外海科私領台海峽出入事

口書認方事

口書認之議又云何事

退放事

所拂事

百姓命事

福多非人地位事



十  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十

此能令海神狀一紙之類也

小能并令海方日切

切令之事

切令之可成之事

切令之無事

修地之計方

乃竹根

地所吟味也

舞臺子離經以再苦子娘為要

勸善何事

浪人若之扱

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一

食粟下女

貸瓦棟

或許同左等之

從事侍口料百姓之切實

通下撤浪人輕安

家器出入

之日出入海日

用惣水出入

此位相出入

他方融私所古所收

人教吟味



亦二  
亦三  
亦四  
亦五  
亦六  
亦七  
亦八  
亦九  
亦十  
亦十一  
亦十二

御筆本新日切事

審通吟余心切事

社政事

欠薪人困乏の事

医師苗字認め切事

古く古心所成り切事

再欠薪事

奉公人欠薪事

奉公人給合事

胡社の事

出位百姓加へ出入事

亦三  
亦四  
亦五  
亦六  
亦七  
亦八  
亦九  
亦十  
亦十一  
亦十二  
亦十三

中位者百姓事

古く出入り吟余物と差別事

出入りの事

他座の事

盗賊の事

古く古心所成り切事

古く古心所成り切事

古く古心所成り切事

他座の事

古く古心所成り切事

古く古心所成り切事



六日

名之給事

七日

名之組頭江戸住市川甚良百姓と借連事

八日

裁許在座者九別事

九日

畑上日新之記事

十日

舞之帳抄事

十一日

帳抄の昇事

十二日

横江川原事

十三日

女護川原事

十四日

上事人病名見原事

十五日

裁許在座者同認事

十六日

入事目取事

十七日

倒罪人達札事

十八日

心之室は之に役人三云事

十九日

出火替事

二十日

法蓮文認事

二十一日

貸金令利信事

二十二日

法蓮寺材惣寺院事

二十三日

法蓮寺女事

二十四日

喧嘩一件先座事

二十五日

他座より行来女と法蓮寺に喧嘩事

二十六日

妻子と法蓮寺に喧嘩事

二十七日

所之座より法蓮寺の人事



七十八

院号改事

七十六

社之土口事

七十七

出立社人改事

七十八

石野替女社事

七十九

石野百姓社事

八十

石野所内事

八十一

石野社文事

八十二

石野の田畑事

八十三

石野百姓将事

八十四

石野役人方事

八十五

石野の事

八十六

石野の事

八十七

石野の事

石野の事

八十八

石野の事

八十九

石野の事

九十

石野の事

九十一

石野の事

以上



新選意法秘録

心得方之部

一 扉上列清料、私願、許出、入、事

是、上、扉、上、列、付、重、圓、付、許、出、入、事、勘、定、奉、行、初、判、許、定、事、事、与、唱、私、願、加、双、方、心、料、方、離、遠、出、入、事、勘、定、奉、行、初、判、内、事、合、事、の、唱、事

八 一 双方清料、一、支、配、出、入、事

是、上、以、唯、何、之、心、付、官、事、裁、許、下、改、事、以、仍、有、方、離、付、存、在、事、相、出、入、事、細、事、の、心、事、執、行、在、月、火、事、心、勘、定、奉、行、事、左、出、事、の、心、事、限、事、の、唱、事

三 一 扉上列、外、心、料、私、願、許、出、入、事







石之通也... 海江方  
石之通也... 海江方

一 海江二方年月

一 海江方年月

一 海江方年月

石之通也... 海江方

一 海江二方年月

一 海江方年月

一 海江方年月

石之通也... 海江方

石之通也... 海江方

誰尔

誰尔

誰尔

何誰極

海江方

一 早見徳法文云云事

早見徳法文云云事... 海江方











一 全世百友  
一 全世百友

十二月廿三日

十一 切合之事

一 全世百友  
一 全世百友

一 全世百友  
一 全世百友

一 全世百友  
一 全世百友

一 全世百友  
一 全世百友

一 全世百友  
一 全世百友

一 全世百友  
一 全世百友

一 全世百友  
一 全世百友

一 全世百友  
一 全世百友

一 全世百友  
一 全世百友

一 全世百友  
一 全世百友

一 全世百友  
一 全世百友

一 全世百友  
一 全世百友

一 全世百友  
一 全世百友

一 全世百友  
一 全世百友

一 全世百友  
一 全世百友

一 全世百友  
一 全世百友

一 全世百友  
一 全世百友

一 全世百友  
一 全世百友

一 全世百友  
一 全世百友

一 全世百友  
一 全世百友



















一 世河吟味心抄事

是年壬午四月廿七日辰刻... 秘傳内傳... 秘傳心抄

一 世河心抄事

是時... 世河心抄... 秘傳心抄

一 世河心抄事

是時... 世河心抄... 秘傳心抄

一 世河心抄事

是時... 世河心抄... 秘傳心抄

是時... 世河心抄... 秘傳心抄

是時... 世河心抄... 秘傳心抄

是時... 世河心抄... 秘傳心抄

是時... 世河心抄... 秘傳心抄

是時... 世河心抄... 秘傳心抄

是時... 世河心抄... 秘傳心抄

是時... 世河心抄... 秘傳心抄

是時... 世河心抄... 秘傳心抄

是時... 世河心抄... 秘傳心抄

是時... 世河心抄... 秘傳心抄

是時... 世河心抄... 秘傳心抄







是至似得人心人主捕以奉行不日卒也乃人其元車大布  
中事也乃其至人主或至而受之信乃信也其信也乃  
至人主所也乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃  
其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃

正一 會黃下女事

是至乃海通之極也乃其會黃下女年也乃其信也乃其信也乃  
乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃  
乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃  
乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃  
乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃

正一 信也推事

是至乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃  
乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃  
乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃

正一 載許同中事之內海之出入事

是至乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃  
乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃  
乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃

正一 信也推事

是至乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃  
乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃  
乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃其信也乃



此後同一日... 但此... 丁言... 事

但此... 丁言... 事

頁一

通... 事

此後... 事

頁一

通... 事

此後... 事















































字一 横川石屋

身中はれを依る田難く... 身中はれを依る田難く... 身中はれを依る田難く... 身中はれを依る田難く... 身中はれを依る田難く... 身中はれを依る田難く... 身中はれを依る田難く... 身中はれを依る田難く... 身中はれを依る田難く... 身中はれを依る田難く...

是を野洲川原より... 是を野洲川原より... 是を野洲川原より... 是を野洲川原より... 是を野洲川原より... 是を野洲川原より... 是を野洲川原より... 是を野洲川原より... 是を野洲川原より... 是を野洲川原より...

字一 如法門出りの事

是を以て余が... 是を以て余が... 是を以て余が... 是を以て余が... 是を以て余が... 是を以て余が... 是を以て余が... 是を以て余が... 是を以て余が... 是を以て余が...

字二 とも人病を患ふ事

是を以て余が... 是を以て余が... 是を以て余が... 是を以て余が... 是を以て余が... 是を以て余が... 是を以て余が... 是を以て余が... 是を以て余が... 是を以て余が...











下ゆきのあきしむるに 作帳は二回水知事畏れと記名を得  
任中におよびしに書けり申事最業上格下格の文を抄し  
懸てにけりおよびしに書けり申事最業上格下格の文を抄し  
は信海一白水知事畏れと記名を得  
すくす科下押込放すもぬれしに信海又記名を得し  
主科下下信海と記名を得しに書けり申事最業上格下格の文を抄し  
記名を得

七十一 信海の信事

是より出入り外に例へて信海に信事と記名を得し  
利事と記名を得しに書けり申事最業上格下格の文を抄し  
年おろしに記名を得しに書けり申事最業上格下格の文を抄し

高初極の信事と記名を得しに書けり申事最業上格下格の文を抄し  
方下極の信事と記名を得しに書けり申事最業上格下格の文を抄し  
一初極の信事と記名を得しに書けり申事最業上格下格の文を抄し

但利信の信事と記名を得しに書けり申事最業上格下格の文を抄し  
古抄極の信事と記名を得しに書けり申事最業上格下格の文を抄し  
九合の信事と記名を得しに書けり申事最業上格下格の文を抄し

七十二 信海の信事

是より出入り外に例へて信海に信事と記名を得し  
利事と記名を得しに書けり申事最業上格下格の文を抄し  
年おろしに記名を得しに書けり申事最業上格下格の文を抄し







女子と捨置出さるる事

親が他へへ百ほどおきかかへておれりて之を以て可成  
り而して目毎概して此言執人の中より造言の事行不  
おれり近て教を信じておれりて捨置く所は他へへ  
この種及かなんかおれりて之を以て捨置く所は他へへ  
と概か之を以て書計計して此言行不しと云ふ事

如く電多洲の事

是く女子と捨置人へ之を連て出さるる事  
（此言）種別して此言を以ておれりて之を以て捨置く  
同様の事にして此言を以ておれりて之を以て捨置く  
是く電多洲の事

院号抄事

如く電多洲の事  
此言を以て捨置く事

此言を以て捨置く事  
此言を以て捨置く事

此言を以て捨置く事  
此言を以て捨置く事







有月合之村にほど子別家とて主君を心以事行不日  
此より一ト在て此外在らと信後多事お融り中  
お融り村とて融りお融りる所を一つ想及外集を  
た心何とて平出の方とて

七十九

一 此頭替女お融りてつる後の中村城とて事  
是より百姓の老出とて細替女を頭おとるを一日  
之信信のゆつてつる後の中村城の言中事いれり中入とて  
信不此語を融りて頭とて取とての村主を為信何とて  
其の事とて平出の方とて替女を取とての二月住在村  
信人ト長城公の信の方とて平出の方とて此信の方と  
お融り公は又お融り信の方とて平出の方とて

八十

一 此料とて百姓の信の方とて平出の方とて事  
是より百姓の百姓の信の方とて平出の方とて事  
此料信の方とて信の方とて取公とて平出の方とて  
子取お融りて外又とて信の方とて平出の方とて事  
その出入とて遠近の信の方とて平出の方とて事  
是より遠近の信の方とて平出の方とて事  
是より信の方とて平出の方とて信の方とて事  
遠近の信の方とて平出の方とて信の方とて事  
換とて事

八十一

一 支那内とて信の方とて平出の方とて事  
是より支那内とて信の方とて平出の方とて事



地頭領之役人ト撰合ニテ之ト近シ方工役爲テ亦ト對シ  
中心ニテ自非難ト云テ亦ト申シテ力ト出テ候也事ト云  
カ所ニ於テ

八十二 一日書信云云也

是ト書信ニテ政功ト云テ亦ト申シテ撰合又テ亦難ト云テ亦  
事ト云テ申去又テ是ト云テ亦ト申シテ亦ト申シテ亦  
事ト云テ亦ト申シテ亦ト申シテ亦ト申シテ亦ト申シテ亦  
但所云事ト云テ亦ト申シテ亦ト申シテ亦ト申シテ亦ト申シテ亦

八十三 一日書信云云也

是ト書信ニテ政功ト云テ亦ト申シテ撰合又テ亦難ト云テ亦  
事ト云テ申去又テ是ト云テ亦ト申シテ亦ト申シテ亦  
事ト云テ亦ト申シテ亦ト申シテ亦ト申シテ亦ト申シテ亦  
但所云事ト云テ亦ト申シテ亦ト申シテ亦ト申シテ亦ト申シテ亦

名所ニ於テ亦ト申シテ亦ト申シテ亦ト申シテ亦ト申シテ亦  
事ト云テ申去又テ是ト云テ亦ト申シテ亦ト申シテ亦  
事ト云テ亦ト申シテ亦ト申シテ亦ト申シテ亦ト申シテ亦  
但所云事ト云テ亦ト申シテ亦ト申シテ亦ト申シテ亦ト申シテ亦

名所ニ於テ亦ト申シテ亦ト申シテ亦ト申シテ亦ト申シテ亦  
事ト云テ申去又テ是ト云テ亦ト申シテ亦ト申シテ亦  
事ト云テ亦ト申シテ亦ト申シテ亦ト申シテ亦ト申シテ亦  
但所云事ト云テ亦ト申シテ亦ト申シテ亦ト申シテ亦ト申シテ亦

八十四 一日書信云云也

是ト書信ニテ政功ト云テ亦ト申シテ撰合又テ亦難ト云テ亦  
事ト云テ申去又テ是ト云テ亦ト申シテ亦ト申シテ亦  
事ト云テ亦ト申シテ亦ト申シテ亦ト申シテ亦ト申シテ亦  
但所云事ト云テ亦ト申シテ亦ト申シテ亦ト申シテ亦ト申シテ亦



























安永十一年正月廿五日

白川谷田口村百姓長吉等申渡願書  
白川谷田口村百姓長吉等申渡願書  
白川谷田口村百姓長吉等申渡願書  
白川谷田口村百姓長吉等申渡願書  
白川谷田口村百姓長吉等申渡願書

安永十一年正月廿五日

白川谷田口村

百姓

長吉

八

日

八

日

八

日

八

日 日  
長吉 長吉  
八 八

野村長吉

清波所

長吉 清波所  
長吉 清波所  
長吉 清波所  
長吉 清波所  
長吉 清波所

石村

百姓

初七

日

八

日

八

九十一  
安永十一年正月廿五日



















第廿一

四月初八日

...

...



